群馬県 追補

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2019-03-07 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 大森, 威宏 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.24517/00053499

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.

10. 群馬県　追補

大森威宏（〒370-2345　群馬県富岡市上黒岩1674-1　群馬県立自然史博物館
ohmori@gmnh.pref.gunma.jp）

(A)　植物誌

『群馬県植物誌　改訂版』（群馬県　1987）以降植物誌改訂の動きはない。ただし，外来植物については群馬県立自然史博物館のプロジェクトとして大森威宏編『群馬県外来植物チェックリスト2008年版』（群馬県立自然史博物館　2009）が刊行された。県新産植物や分布上の新知見は『群馬県立自然史博物館研究報告』，『群馬生物』，『Field Biologist』のほか，県自然環境課が発行する『良好な自然環境を有する地域学術調査報告書』や『尾瀬の自然保護』に県委託調査の成果として発表されている。

(B)　研究機関

群馬県自然環境調査研究会では，毎年実施する良好な自然環境を有する地域学術調査のほか，絶滅危惧動植物保全対策調査（2001～2003），群馬県外来生物調査（2005～2008），群馬県レッドデータブック改訂に関する調査（2009～2012）を行ってきた。群馬県尾瀬保護専門委員会では2003年以降毎年尾瀬の植物相・植物群落に関する調査を行い，『尾瀬の自然保護』（群馬県発行）の中で毎年報告している。群馬県立自然史博物館では3年計画で県内の特定地域または生物群の調査を行い『群馬県立自然史博物館自然史調査報告書』として報告している。2002年以降のテーマは，四ッ又山・鹿岳周辺地域（下仁田町・南牧村：2002～2004），移入生物（2005～2007），長野原・東吾妻町地域（2008～2010），上野村地域（2011～2013）である。

(C)　標本庫

群馬県立自然史博物館の2002年以降の主な寄贈植物コレクションは宮前俊男氏（19000点），須藤志成幸氏（9000点），粟田郁男氏（2600点），樋口佳友氏（2000点），である（点数はいずれも概数）。また，前橋市教育委員会から明治時代の標本730点が管理移管になった。これらのうち，粟田郁男氏コレクションは全国で採集されたシダ植物で，それ以外は群馬県産の維管束植物が主体である。宮前俊男氏コレクションには，群馬県尾瀬管理保護センター開設と保護事業開始にあたり，尾瀬地域で採集された標本約350点を含む。また，サイエンスミュージアムネット及びGBIFポータルサイトへの収蔵標本情報の情報提供を2007年度より行っている。2012年4月現在35837件の維管束植物及び菌類の標本情報を提供し，これらのサイトで公開されている。

(D)　レッドデータブック

2009年度から群馬県自然環境課により『群馬県の絶滅のおそれのある野生生物』（2001）の改訂作業が行われ，2012年4月に『群馬県の絶滅のおそれのある野生生物　植物編　2012年改訂版』が発行された。選定基準の明確化を行った結果選定種は初版の382種から633種に増加した。また，今回の改訂に合わせて定量評価を導入した。レッドリストについては群馬県のホームページから閲覧でき，冊子体は群馬県県民センター（〒371-8570群馬県前橋市大手町1-1-1　群馬県庁2F）で有償頒布している。

図　群馬県の絶滅のおそれのある野生生物　植物編　2012年改定版

(E)　植物群落

県の事業として『良好な自然環境を有する地域学術調査報告書』と『尾瀬の自然保護』が継続的に発行され，現在に至るまで植生に関する報告が行われている。